

公園緑地における環境教育の取り組み

都市公園等における環境教育・環境学習の推進

○国営公園など全国の都市公園において、公園管理者が地域や学校等と連携し、多様な環境教育・環境学習のプログラムを実践する場を提供。また、これらのプログラムを実践する都市公園等の整備を推進。

【国営讃岐まんのう公園なかとぐん(香川県仲多度郡まんのう町)】 讃岐の里山の自然を活かした 環境学習の場となる国営公園

○地域のボランティアが主体となり、環境学習会やガイドウォークなどを行う自然観察・体験学習プログラムの実践の場として提供。

【環境学習プログラム、ガイドウォーク等】
令和3年度 261回、延べ参加者数 7,156人



<自然生態園ガイドウォークの様子>

【県営烏川溪谷緑地からすがわ(長野県安曇野市)】 溪谷の自然を活かした環境学習の場となる都市公園

○溪谷の自然を守り、活かしながら利用するため、整備は園路にとどめ、環境を保全するとともに、市内小学校の環境学習会など、体験型環境教育の場として提供。

【一般向け公開学習会】
平成17年から令和2年までの
16年間で約5,500人が参加

【子供向け環境学習会】
・令和2年度は、対象 7団体、
約300人が学習
・50年継続すると市民の約半数が
環境教育を体験することになる



<カタクリ観察会の様子>



<子供向け環境学習会の様子>

